

病院の再編統合は新型コロナ対策に逆行

改選後初の一般質問で強調



改選後初の定例議会となった6月議会の12日、私は一般質問を行いました。

今回は新型コロナウィルス対策を視野に入れながら、PCR検査センターの設置、厚生労働省や新潟県病院局が進める病院の統廃合、病院や介護施設などへの経済的な支援などについて質問しました。以下はやりとりの概要です。

上越市にも検査センター設置を急げ

【橋爪】新型コロナウィルスの検査センターをめぐる情勢は検査方法一つとっても日々変化している。感染拡大を防ぐためにこれまでの取組を改善してより良い検査を速やかにやる、そういう仕組みをつくるべきだ。検査センターの必要性、これまでの取組の経過、今後の方針について聞かせてもら

いたい。

【村山市長】保健所が市民からの相談を受け、必要だと判断した場合ももちろん、かかりつけなどの医師が必要と判断した場合の全件について、速やかな検査が実施されている。十分な対応が図られている。医療機関の負担を軽減するため、PCR検査センターの検体採取は病院とは別に設ける方向で検討しており、当地域に適したセンターの形態や、その運営方法について準備を進めている。

【橋爪】当地に適した形態と運営とは何か、もう少し踏み込んで明らかにしてほしい。

【野澤副市長】治療する場所と検査する場所は分ける。第2波、第3波にも備え、少し今の状況よりも進んでも万全の態勢でできるセンターをつくらうと思っている。

【橋爪】今後の検査をどうするかについては、北海道や岩手など18道県知事が5月11日に緊急提言された。この中で、病院関係者、介護福祉の関係者入院患者、入所者なども検査対象にしてくださいと言っている。上越でこれからやる検査センターはこの点、期待していいか。

【野澤副市長】私たちのセンターは法律で決まった行政検査をやるころ。国が今後、行政検査の枠を広げるかどうかは議論していると思う。



【コウホネ】スイレン科。水生の多年生草本。漢字で「河骨」と書きます。川辺や浅い池に自生しています。花期は6月～8月。水上に長い緑色の花柄を出し、その先端にカップ状の黄色い5弁の花を1個だけ咲かせます。花言葉は「崇高」。写真は、吉川区小苗代の池にて撮りました。

病院の再編統合は撤回すべきだ

【橋爪】新型コロナの問題が出るなかで、公立、公的病院の再編統合問題は放っておけない。厚生省の方針も県病院局の方針も見直しというより考え直すべきだ。市長は率先して、厚生省の計画も県の方針も撤回すべきだと、踏み込んでいただきたい。

【村山市長】厚生省は、再検証の期限を改めて整理するとしていたが、現時点で期限は示されていない。県も新型コロナウィルス感染症拡大への対応に注力する状況となり、検討が進んでいない。

上越地域医療構想調整会議では、病院の統廃合の議論は別として、地域固有の実情を踏まえ、将来に向けて安定的な医療提供体制を構築する必要があるとの認識が既に共有されている。市は、市民の皆様が安心して暮らせる地域医療体制の確保を第一に考えて、引き続き調整会議などの議論に参加し、的確に対応していく。

【橋爪】新型コロナの問題が出て、いま、病院のことを考えると

きにどういった視点が必要か。専門家に聞いたら、①急激に患者が増えても足りるベッド数を確保する、②病院の一極集中はダメ、分散配置が必要、③効率優先もダメ、ということだった。上越地域の病院について、市長はどう考えるか。

【村山市長】上越地域医療センター病院は、私たちの病院として残していく必要がある。柿崎病院は県立の病院として頸北地域の医療の守り手としてしっかり運営してほしい。今後、動きがあれば強い思いで対応したい。

オンライン面会の支援を

【橋爪】新型コロナの関係で病院や介護施設等に入っている家族と会えない、死に目にもあえない。こんな非人間的なことはない。新型コロナ対策としてはわかるが、せめて、顔を見れる、言葉を交わせるオンライン面会くらいはできるように支援してほしい。

【村山市長】設備・機器の整備などの直接的な支援を行う予定はないが、最小限の経費で行える事例を紹介するなど協力していく。

はしづめ法一の活動レポート

No.1964 2020.6.21
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見え方」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い 第六一回 懐かしの地へ

いま思うと、最後のチャンスだったかも知れませんが。六月初旬、青空に筋雲が広がった日、母を車に乗せて母の生まれ故郷や長年住んでいた尾神へ行ってきました。

原之町、東田中経由で源地区に入ると、母は、「ありや、エコちゃんちだねかな」と従妹が嫁いだ家を見て言いました。さらに車を一キロほど走らせたとこころでは、「あの赤い屋根はハルミさんちだ」とも言いました。物忘れが進んだ割には正確なことを言うので感心してしまいました。

久保を過ぎ、大島区の板山の田んぼが見えるところまで行くと、軽トラのそばに立っている男性の姿が見えました。母が「ありや、○○だねかな」と言いましたが、間違いありませんでした。私の従弟です。母が「おまん、いい男だね」と言ったのには従弟とともに笑いました。

その後、誘われて従弟の家に行きました。家の周りにはピンクのムシトリバナと赤いポピーが色鮮やかに咲いています。従弟は車庫の近くにイスを用意してくれ、母は車に乗ったままサイダーを、私はアイスコーヒーをご馳走になりました。母は「つんね」や「そうでもち」（いずれも屋号）などの名前を出し、昔のことを思い出していました。

板山では「杉（屋号）のかちや」のところに寄りました。キョウダイがみんな亡くなり、一人ぼっちになった母にとっては大事な幼友達です。防災無線からは正午を伝える音楽が流れていました。

玄関で、「いなくなったかね」と声をかけると、最初は不思議そうな顔をしていた「杉のかちや」でしたが、車の助手席に乗っている母の姿を見つけると、「まあ、そっか。いかったあ」と大喜びしてくれました。「杉のかちや」は、母との再会が実現するとは思っていませんでした。

ぜんめ、ひとつば食べるかい」と言っていて、家の中に入り、「きな粉せんべい」と「ゼンマイと竹の子の煮しめ」を持ってきてくれました。母は「まあ、うんめがど。上手に煮てある。たしねえもん、もうしゃけねえね」と言いながら、食べていました。

板山からは昔の通学道路を通って、田舎へ行きました。「ここまで来たら、田舎や竹平も母に見せてあげよう」と思ったのです。「みんな、家、新しくなっている」母はそう言いましたが、何十年前前に母が見た家と違っているのは当然のことです。

母の実家へ行く途中、足谷の従兄の家の居間が見えたので、クラクションを鳴らすと、従兄の連れ合いが気づき、外まで来てくれました。少し遅れて、従兄も車のそばに来て、「元気だねかい。いかった」と母の手をとり喜んでくれました。

帰りは下川谷からトンネル経由で尾神に抜けました。母も私も若かりし頃、何度も歩いた道です。ホタルブクロがあちこちで咲いています。「トンネル出ると虫場、見えるがねかな」「いや、めーねろ。ナナトリは見えるるでも」そんな言葉を交わしながら、車を走らせました。

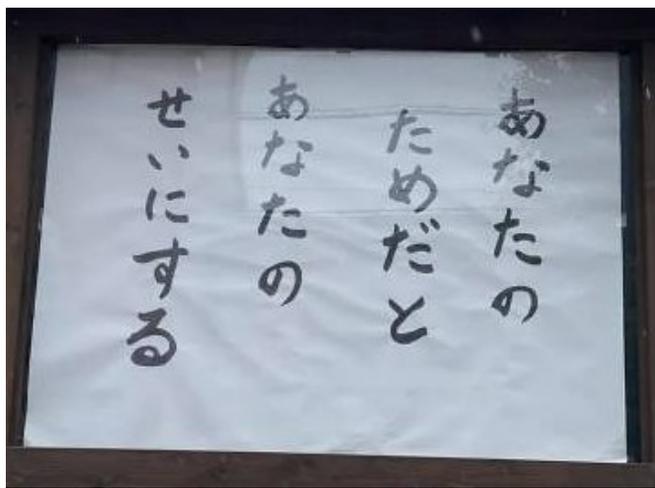
杉林の近くで、「あれ、サワナでねかな」と私が言うと、母はすかさず「採っていきさ。煮て食べんがに。少しでいいすけ」。体を動かさなくても、山菜が大好きな母の気持ちが高ぶったのでしょう。

道路脇には牧草のオーチャードやイタリアンも生い茂っていました。わが家が長年、牛飼いをしていただけあって、母は懐かしい思いに浸ったようです。虫場では、従妹のエコちゃんとも偶然出会いました。

母を乗せての、懐かしの地への訪問。わずか二時間あまりでしたが、母にとっては忘れることのできない思い出となったはずです。母はこの訪問の二日後、再び入院しました。

あなたのためだと あなたのせいにする

直江津の三八市の通りにある暁信寺の掲示板、久しぶりに張り替えられました。今回の言葉は、「あなたのためだと あなたのせいにする」。今回もなかなか奥深い言葉です。新住職が考え抜いて書かれた言葉だと思いますが、前住職のセンスと思想が引き継がれているなと思いました。



吉川区の地域バスの更新、清里区の市営バス購入へ 過疎地域自立促進計画の変更

6月定例議会に「上越市過疎地域自立促進計画の変更について」が提案され、可決されました。中身は吉川区川谷地区において運行されている地域バスの更新と清里区内において新規に運行する予定の市営バスの購入です。このうち、吉川区の地域バスは川谷地区の人々が医療機関への通院に必要なものです。清里区の市営バス

は、学生や高齢者を中心とした地域住民の移動手段となるものです。いずれも事業主体は上越市です。購入予定などは明らかになった段階でお知らせします。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月10日(水)	6月17日(水)
上越南消防署	0.050	0.047
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.047	0.040
頸北消防署	0.043	0.050
頸南消防署	0.050	0.050
東頸消防署	0.050	0.050
名立分遣所	0.053	0.053
高士分遣所	0.057	0.053